



ハイ！ スクール通信 High School communication - 市内高校通信 -

Vol.9



岱志高校、有明高校、荒尾支援学校の市内3つの高校の取り組みや学生たちの様子などをお届けします。地元高校の新たな魅力の発見につながるかも！

荒尾養護学校（荒養）から荒尾支援学校（ARA・SHI）へ 創立40周年の記念式典を開催しました



創立40周年記念式典

本校は、1979年（昭和54年）の市の「福祉村」構想の中で、荒尾・玉名地域に居住する知的障がいのある子どもたちのための養護学校として産声を上げました。開校当初は、小・中学部61人でスタート。1990年（平成2年）には高等部が設置され、小・中・高一貫した教育を展開するようになりました。2012年（平成24年）には、荒尾養護学校から荒尾支援学校に校名を変更し、今年度は146人の子どもたちが学んでいます。創立40周年記念式典では、来賓、職員、在校生や卒業生ら約350人の



ARA・SHIまつり「はじめの集い」①

出席がありました。式典では、来賓の皆さんのお祝いの言葉に続き、児童生徒代表の坂本さんが「優しい仲間や先生に会い、地域の人に支えられて成長できました」とあいさつし、たくさんの拍手を頂きました。式典後は、ARA・SHIまつりを開催しました。ステージ発表、作業学習製品販売会や食品バザーを通じて、多くの人と人との交流が見られました。

10月15日開催 のぼらさん

野原八幡宮秋季例大祭

旧荒尾郷（荒尾市・長洲町）の1カ月早い七五三としても知られる、野原八幡宮秋季例大祭（愛称：のぼらさん）が開催されました。境内には、色とりどりの着物や凛々しいはかま姿の子どもを連れた家族連れの参拝客の姿が多くありました。この日は、770年以上の歴史を持つ、国選択無形民俗文化財「風流」と市指定無形民俗文化財「節頭行事」も奉納され、境内に響き渡る「ハーロイ、ハーロイ」の掛け声、太鼓や笛の音に、多くの参拝客が足を止めて見入っていました。

1・2 多くの観客も詰め寄せる中で奉納された節頭行事と風流 3・4 七五三の参拝に訪れる親子連れの姿も多くありました



10月15日開催 万田坑スケッチ大会

10月15日開催 万田坑フェスタ



澄んだ秋空、心地よい風。お出かけしたくなる季節 秋のイベントレポート

10月14日、荒尾青年会議所は万田坑スケッチ大会を開催し、市内全域から75人の子どもたちが参加しました。緑ヶ丘小2年の竹下由琉君は、「万田坑は形が格好いい。上手に描けたらいいな」と笑顔を見せました。

11月3日、万田坑前広場で万田坑フェスタ2018を開催しました。ステージイベントでは、多彩な出演者が会場を盛り上げ、フィールドイベントでは、石炭アートなどのワークショップを多くの人々が楽しみました。無料開放された万田坑では、万田小児童による万田坑子どもガイドも実施。前日の2日にオープンした市の新たな観光拠点「まるごとあらお物産館」にも、多くの買い物客が押し寄せました。



1・2・3・5 万田坑フェスタを楽しむたくさんの来場者 4 日没後は万田坑デジタル掛軸2018も同時開催されました 6 三池炭鉱専用鉄道敷跡を部分的に歩けるようになりました 7 万田坑スケッチ大会 8・9 まるごとあらお物産館。2階は展望スペースです

地域の活動 掲示板

たまねぎ種まき



9/16

清里地区協議会

音と光の祭典



9/29

一小校区元気づくり委員会

万田中央地区除草作業



9/17

万田中央地区協議会

万田公園前花壇整備



10/14

井手川地区協議会

万田中央グラウンドゴルフ大会



9/23

万田中央地区協議会

カライモ掘り大会



10/14

府本地区協議会